

分野：②

学校の自然たんけん

環境アドバイザー

貴家 章子

対象 川口市立芝西小学校 3年(120人)

所要時間 1時間30分



場所 川口市立芝西小学校

実施時期 令和4年6月10日

概要

自然と非自然を分けて考えさせる。
芝西小ビンゴを実施。いろいろな形、色、手触りのちがいに気付かせる。
ミッションカードの実施。植物の様子の違いに気付かせる。
学校の草木の見方が変わり、名前だけでなく特徴に気付かせる。

プログラムの
ねらい

1. 生物を自然のものと自然でないものに分けることができる。
2. 芝に小ビンゴを通して、普段見落としている自然に気づくことができる。
3. ミッションカードを通して、生物の特徴に気づくことができる。
4. 身の回りの生物を調べようと意欲を持つことができる。

プログラムの内容

1 自然のもの自然でないもの(20分)

提示した動物や植物を自然のものと自然でないものに分けてみる。

(ヒントとして飼育されたものや栽培されたものは、自然のものではない。)

2. 芝西小の自然を探検(50分)(5分休憩)

①芝に小ビンゴ

ビンゴカードのそれぞれの形や色などの特徴を16個見つけ出す。

(4×4=16マスにそれぞれに問題が書かれている。)

②ミッションカード

配られた写真の植物を学校の中庭を歩いて探し出し、観察しその特徴を記入する。名前がわかればそれを記入。質問されれば植物の生活場所のヒントを与える。

3. 自然探検のまとめ(20分)

- ・昆虫とその食草。(モンキチョウの幼虫はシロツメクサを食べるなど。)
- ・生き物が生きれる条件を3つ答えることができる。(水、食べ物、すみか)

上谷沼の紹介

受講者の反応

- ・自然については、園芸種を考えたことから、自然でないものを理解する児童が多かった。
- ・中庭などの実習では、ほとんど全員が意欲的に活動していた。熱心に用紙に書き込む姿が見られた。
- ・生き物に対してもっと知りたいという感想が多くあり、実習の大切さを実感した。

環境学習の様子



これは自然のものですか。
それとも自然でないもの
ですか。

えーとこの植物は〇〇
で、特徴は・・・



生物が生きていくのに
必要なものは何ですか。